

南海トラフ巨大地震や 風水害から命を守るために!

南海トラフ巨大地震の発生確率と本市の被害想定

《発生確率》

○南海トラフ巨大地震は**30年以内**に**70%~80%**程度の確率で発生すると想定
 《名古屋市域の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの場合)》

○最大震度 **7**

○津波浸水想定区域 中村区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、緑区

区分	対策前	対策後
死者数	約6,700人	約1,500人
重傷者数	約3,000人	約1,400人
軽傷者数	約12,000人	約6,900人
地震動による全壊棟数	約34,000棟	約9,900棟

【想定で見込んだ防災対策の内容】

区分	対策
人的被害	○建物の耐震化 ○家具等の転倒・落下防止対策 ○全員が発災後すぐに避難開始(昼間5分、夜間10分) ○既存の津波避難ビルの有効活用 ○耐震化による、津波被害を受ける自力脱出困難者の減少
建物・経済被害	○建物の耐震化

風水害に対する対策

毎年、日本各地で、台風や大雨による被害が発生しています。名古屋市では、伊勢湾台風を始め、平成12年東海豪雨や平成20年8月末豪雨による被害を受けてきました。

いざという時の避難行動等を確認し、日頃から備えましょう。

警戒レベル等	住民がとるべき避難行動等	避難情報	気象情報等(相当情報)
警戒レベル5 災害発生	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	河川：氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水害) 土砂：大雨特別警報(土砂災害)
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難 しましょう。 指定緊急避難場所等(親戚・友人宅含む)	避難指示(緊急) 避難勧告	河川：氾濫危険情報 土砂：土砂災害警戒情報 高潮：高潮警報、高潮特別警報
警戒レベル3 高齢者等避難	避難に時間を要する方(高齢者、障害者、 乳幼児などの要配慮者)とその支援者は 危険な場所から避難をしましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始	河川：氾濫警戒情報、洪水警報 大雨警報(浸水害) 土砂：大雨警報(土砂災害) 高潮：高潮注意報

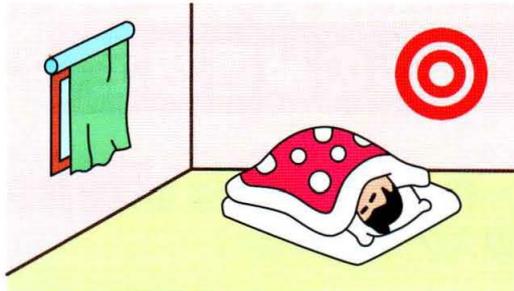
※警戒レベル3相当情報(例:大雨警報)が発表されたとしても、必ず「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されるとは限りません。
 ※気象庁の発表する早期注意報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

地震から命を守る

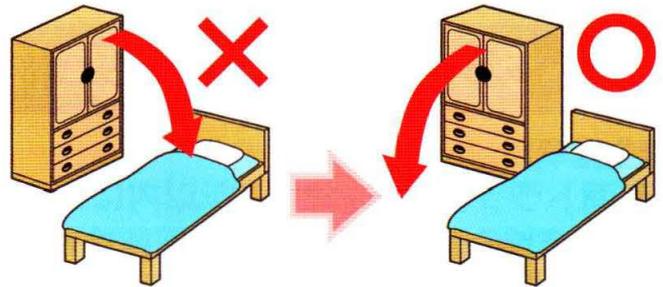
家具等の転倒防止対策

安価、かつ確実に命を守る対策です。

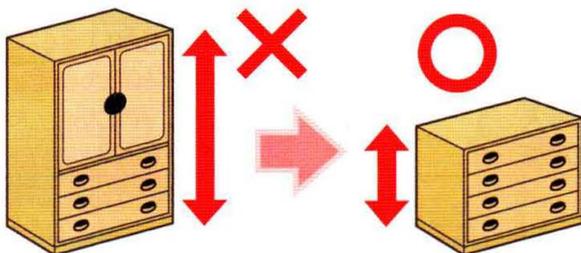
寝室を優先に家具等の配置の見直し、背の低い家具への変更や固定など、転倒防止対策を行いましょう。



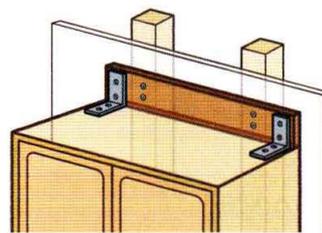
家具を置かないようにしている



就寝場所や、出入口を塞ぐ位置に倒れないような家具のレイアウトにしている



背の高い家具は置かないようにしている



家具の転倒による負傷を防ぐため、家具を固定している
※様々な家具転倒防止器具があります



壁側奥に設置

地震火災対策

火事を起こさない、起きてても小さな火のうちに消すことが重要です。

火災を早期発見し、初期に消火できるようにするため、住宅用火災警報器や住宅用消火器等を備えておきましょう。

住宅用火災警報器の
作動確認の方法



音が鳴れば正常です。

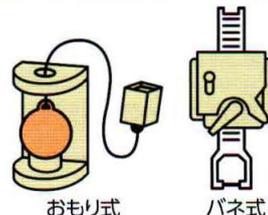
消火器等による消火



ブレーカーの
遮断



あらかじめ感震ブレーカーを設置



感震ブレーカーの種類 (例)

火の元
確認



《感震ブレーカー設置の留意事項》

感震ブレーカーを設置した場合、機器の作動により人工呼吸器等の医療機器や避難用照明、情報収集用のテレビなどが使用できなくなるおそれがあります。それらの点を踏まえ、住環境に合ったものを設置するようにしましょう。

家具転倒防止 ボランティア

自力で家具転倒防止をすることが困難な世帯への支援として、「家具転倒防止ボランティア」の派遣を行っています。詳しくは、各区の消防署総務課または区役所総務課までお問い合わせください。

家具ボラ
依頼したい
方はこちら



地震
ハザード
マップ



津波
ハザード
マップ



洪水・内水
ハザード
マップ



地区防災
カルテ



ナゴヤ
避難ガイド



名古屋市
浸水実績図

風水害から命を守る

風水害から 命を守る行動

- 風水害から「命を守る」には、**まず自宅が安全かどうか** 確認しましょう
- **避難先だけでなく、避難するタイミング** も大切です
- イザというとき、自らがとるべき行動を考えましょう (マイ・タイムラインともいいます)

チェックポイント①

一番厳しい想定のご自宅周辺の浸水深は?

メートル

洪水・内水ハザードマップや、地区防災カルテを見てください

チェックポイント②

あなたのご自宅は?

(一軒家/長屋/マンション/アパート等)

階建

(階)

マンション、アパートは、自宅階数も書きましょう

チェックポイント③

チェックポイント①・②を踏まえると、命を守るためにイザと言うとき、ご自宅から避難する必要がありますか?

逃げる必要なし

逃げる必要あり

在宅避難でOK
(自宅2階への垂直避難も「在宅避難」です)

逃げ時(タイミング)は?
逃げ先(避難先)は?

◆ 逃げ時(タイミング)

避難情報… 避難準備・高齢者等避難開始 (警戒レベル3)
避難勧告、避難指示 (緊急) (警戒レベル4)

その他 気象情報 (2~3時間、24時間雨量予測、土砂災害警戒情報)
参考情報 河川情報 (水位情報、指定河川洪水予報) など

警戒レベルも参考に適切な避難行動を!

◆ 逃げ先(避難先)

親族・友人宅や、指定緊急避難場所を確認

※逃げ時を逃し、外に出ることが危ない場合は、自宅内の少しでも安全な場所に避難する(必要ならば119番通報してください)

チェックポイント④

ご自宅の場所、構造は?

- (1) 土砂災害警戒区域に含まれる
- (2) 堤防の近く、かつ木造住宅

逃げ時・逃げ先は?

イザと言うとき、警戒区域外に避難

イザと言うとき、安全な建物に避難

安全な建物の例…鉄筋コンクリート造(RC造)



避難情報の発令がされると、対象地域の災害種別に対応した指定緊急避難場所が開設されます。
避難情報によらず自主避難を行う場合は、あらかじめ区役所に連絡してください。



避難情報
警戒レベル



名古屋市
水防情報
システム



名古屋市
防災ラジオ



名古屋市
防災アプリ



マンガ
「救急車の
適正利用」



